

「地域包括ケア」について

2025年までに地域包括ケアシステムを作り上げるとの国の方針が既に4年前より決まっております。

そしてこれを実の在るものにしていくことが、超高齢社会が尊厳をもって成り立つ上でも持続可能な経済を保つためにもいろいろな意味で日本全体にとって必要不可欠になってきております。

財政破綻した夕張市やギリシャが現実にあります。日本の借金1000兆円という状況からの脱出には何十年とかかると思いますが、地域包括ケアを初めとした様々な計画が順調に行けば100年後には21世紀の日本の奇蹟と言われるだろうと私は思っています。

本年も1億総活躍社会・介護離職ゼロ・同一労働同一賃金などが国から提案されております。総論賛成・各論反対でスムーズには進まないと思いますが、そうなって欲しいと思っています。

翻って、このために私達の役割も大変大きなものがあります。

私達の社会での役割は「介護サービス」ですが、その中でも老健施設の役割はさらに大きなものがあると考えております。地域包括ケアの理念は「高齢者が住み慣れたその地域で、その人らしく、継続的な生活を可能とする自立支援・保健医療看護介護福祉や地域密着型ケアサービスを提供すること」となっています。

「自立支援」とは「生活リハビリ」ですし、「その人らしく」とはそれぞれがそれぞれなりに「尊厳・安心・満足」な日常生活を送って頂くよう支援する、ということであります。

まさに私達老健の理念そのものであります。

また入所・通所・訪看だけでなく、ご家族にとっても必要なときにタイムリーに療養相談やショートステイなどを気軽に提供できるようにすることでもあります。

これからは益々介護サービスが大きく大事な産業になっていくでしょう。

私達はこの理念から外れることなく今後もさらに充実・発展していくよう自信を持って取り組んでいきましょう。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

